

令和 6 年度 第 1 回学校関係者評価委員会 会議録

日 時	令和 6 年 5 月 15 日（水） 19 : 00～20 : 15		
開催場所	専門学校 富士リハビリテーション大学校 101 教室		
出席者	(1) 委員（出席 4 名）		
	氏名	所属等	選出区分
	廣瀬 真人	富士整形外科病院 理学療法士/診療支援部門統括副部長	業界関係者
	澤田 和也	湖山リハビリテーション病院 作業療法士/事務長	業界関係者
	佐野 正夫	専門学校 富士リハビリテーション大学校 同窓会長	卒業生
	田邊 享子	専門学校 富士リハビリテーション大学校 後援会長	保護者
	(2) 学校（出席 7 名）		
	氏名	所属等	
	内田 成男	専門学校 富士リハビリテーション大学校 学校長	—
	遠藤 進	専門学校 富士リハビリテーション大学校 副学校長	
	宮下 正好	専門学校 富士リハビリテーション大学校 教務部長	—
	岡本 貴子	専門学校 富士リハビリテーション大学校 事務長	
	市村 真樹	専門学校 富士リハビリテーション大学校 学生担当課長	
	植田 英則	専門学校 富士リハビリテーション大学校 理学療法学科 学科長	—
岡本 博行	専門学校 富士リハビリテーション大学校 作業療法学科 学科長	—	

1 学校長挨拶

2 参加者確認

3 2023 年度重点目標の取り組み状況について

- (1) 非常勤講師との連携体制の強化
 - ・ 非常勤講師用の「学内報」、前年度に引き続き発行した。
- (2) 同窓会との連携強化
 - ・ 同窓会の役員、規約の再整備を援助した。令和 6 年度から同窓会の活動が再開した。
- (3) 富士市との包括連携協定締結に向けた取り組み
 - ・ 富士市と包括連携協定を締結した。（令和 5 年 12 月 22 日）

4 2023 年度自己点検・自己評価結果報告

- (1) 教育理念・教育目標（内田学校長）
 - ・ 「教育理念・目標」教育理念等の明文化、周知できているので 4 + とした
 - ・ 「教育の特色」学校の将来を見据えて将来構想・計画を考えているので 4 + とした。

(2) 学校運営（内田学校長）

- ・「運営方針」「事業計画」「運営組織」は4(適切)とした。
- ・「教職員の評価・育成」教職員の評価・育成は、指定規則の規定 + 1 の教員数を維持している、新任教員は専任教員講習会を必ず受講している。
- ・「情報システム化」校務や教育の ICT 化を進めている

(3) 教育活動（植田学科長）

- ・「目標の設定」目標の設定は適切。
- ・「教育方法・評価等」シラバスは作成しているが、コマシラバスの作成までは至っていない。授業評価は行っているが、教員どうしの評価にはいたっていない。臨床実習支援システムの導入が進んでいるので外部の連携は4+とした。

(4) 学修成果・教育成果（植田学科長）

- ・「就職率」就職説明会をオンライン、対面で実施。参加施設も増加している。
- ・「社会的評価」卒業生の動向を十分に把握できていない。

(5) 学生支援（岡本学科長）

- ・「就職等進路」就職関係のイベント、保護者への説明など実施している。
- ・「学生相談」こころの相談室設置している。気になる学生には教員から利用を促すようにしている。
- ・「中途退学への対応」対応はしているが、1 年次での中途退学が多い傾向が続いている。
- ・「卒業生・社会人支援」卒業生との連携が不十分。

(6) 教育環境（岡本学科長）

- ・「施設・設備」「学外実習、インターンシップ等」全体に適切
- ・「防災・安全管理」防災自主検査チェック表を分担し、毎日記載している。

(7) 学生の受け入れ・募集（宮下教務部長）

- ・「学生募集活動」入学者数が定員 80 名に対して 63 名という結果だった。学生募集活動全般、入学に対応する体制など、適切と言にくい結果だった。

(8) 教育の内部質保証システム（宮下教務部長）

- ・「個人情報保護」対策はしているが、ルールとして十分に明文化できてはいない。
- ・「改革・改善」取り組んではいるが、PDCA サイクルが回っているとは言にくい。

(9) 財務（岡本事務長）

- ・「財務基盤」学校の運営経費が当初予算では不足し、補正予算を組んだ。
- ・「財務情報の公開」ホームページで公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献（宮下教務部長）

- ・「社会貢献・地域貢献」富士市からの委託事業を積極的に受けており、包括連携協定を締結した。高等学校、看護専門学校からの授業依頼にも応えている。
- ・「ボランティア活動」学生ボランティアの依頼、昨年度より増加傾向にある。

5 意見交換・質疑応答

(1) 同窓会と学校との連携

- ・卒業生の中には、同窓会が何をやる団体なのか分からないという意見もある。

- ・ 研修会や学校と連携した活動などができると良い。
- ・ 研修の企画を学校教員が紹介した例もある。そのような形でも連携できる。
- ・ 同窓会は学校への貢献、ボランティアなどの人材バンクになると良いか。
- ・ 学校のホームページに同窓会のページを置いてもらうと良い。就職などで同窓会に相談があればその窓口にもなれる。

(2) 学生数、学生募集

- ・ 中途退学の時期や理由は。
- ・ 中退は1年生で多い。入学して数か月経過した頃に現状（学業の難しさ等）に気づき、退学を考える。もう1つは進級が難しくなった段階で退学を選択する。
- ・ 定員 80 名（両学科合わせて）に対して入学 63 名ということだが、全国的な水準としてはどうか。
- ・ OT 学科は定員を割れている養成校が多いと聞く。本校は過去 10 年みて最も少なかった。
- ・ 現場でも OT の求人には苦勞している。
- ・ 入学者が少ないので求人に影響する。入学者を増やす余地はまだあるので、求人に応えられるよう、学生募集をやってきたい。

(3) 財務

- ・ 物価高の影響はどうか。
- ・ 光熱費、紙代など高騰している。電力業者など、安価な業者を選定するなど工夫している。
- ・ 臨床実習が遠方の場合の宿舎は、家賃の値上がりがあり、実習費用を圧迫している。
- ・ 施設の修繕が必要な個所がある。施設メンテナンスにも出費が増えている。

(3) 臨床実習、キャリア支援

- ・ 臨床実習支援システムは、いつでも教員に連絡。相談できるので学生にとって良いと思う。
- ・ コロナの影響でコミュニケーション弱い学生が多いように思うが、富士リハは学校でコミュニケーション鍛えられる。
- ・ 求人情報を web で閲覧できるシステムを導入した。こういったものが卒業生、同窓会にも広げたいと良い。

6 2024 年度重点目標について

(1) 学生募集の強化

- ・ 入学生が4年制移行後、最も少なかったので、学生募集を2024年度の最重点目標とする。
- ・ 入試広報部門を新設し、募集活動を強化する。
- ・ 特に、作業療法学科入学生 25 名だったので、定員充足を目指して活動していく。

(2) 非常勤講師との連携強化

- ・ 今年度に引き続き、連携体制を強化していく。

7 次回日程の確認

令和6年度第2回学校関係者評価委員会 令和6年11月6日(水)19:00～